

◆ 目次 ◆

- 1 「伊澤修在モンリオール日本国総領事挨拶」
- 2 「総領事館からのお知らせ」
- 3 「領事便り」
- 4 「広報・文化便り」
- 5 「日本関連行事等のお知らせ」
- 6 「ケベック州・大西洋4州政治経済情勢」

1 伊澤修在モンリオール日本国総領事挨拶

このたび倉光前総領事の後任として在モンリオール総領事に着任しました伊澤修(いざわ・おさむ)です。10月9日にモンリオールに着任いたしました。

これまで海外では、フランス、タイ王国、オーストラリア等で勤務しました。カナダについては、これまで短期間の出張経験はありますが、モンリオールを訪れるのは初めてです。さらに、総領事としての勤務も初めてです。

当地には、幾世代にもまたがって、在留邦人の皆様、日系人の皆様、日本企業関係の皆様、日本文化を守り、また発信されている皆様といった日本とカナダの関係を支えてくださる多くの方がいらっしゃることを知り、大変心強く感じております。

まずは、邦人の皆様が安心して御活躍いただけ、また大いに企業・経済・文化活動等に取り組んでいただけるように着実な領事サービスの実施に努めて参ります。また、様々な分野で日本とカナダとの人々の交流を盛んにしていきたいと思っております。更に、これまで日本とカナダ、とりわけ当館の管轄するケベック州、ノバスコシア州、ニューファンドランド・ラブラドール州、ニューブランズウィック州、プリンスエドワードアイランド州との間に、良好な関係を築かれてきた皆様に敬意を表しますと共に、引き続き皆様の力をお借りして、日本とケベック州・大西洋4州との間の関係強化に取り組んでまいりたいと考えております。

引き続き当館の活動に対し、御理解・御協力のほど、よろしくお願いいたします。

在モンリオール日本国総領事
伊澤 修

2 総領事館からのお知らせ

(1) 11月、12月の休館日のお知らせ

11月・・・・・・土日以外の休館日無し

12月24日(月) 天皇誕生日振替休日, Christmas Eve

12月25日(火) Christmas Day

12月26日(水) Boxing Day

12月31日（月） 行政機関の休日

3 領事便り

(1) 在留届内容確認のお願い

当館では、当館管轄地域にお住まいの邦人の皆様に、在留届をご提出いただき、テロや大規模災害等の緊急事態発生時に、皆様に必要な連絡ができる体制を整えております。

緊急事態に備え、また、より良いサービスの観点から、定期的に在留届のデータの確認・更新を行っていただく必要があります。

特に、(1) 滞在資格（長期滞在資格から永住権を取得）、(2) メールアドレス、(3) 住所（転居、帰国）、(4) 家族の追加（出産）等で変更があった場合に、在留届記載事項変更届のご提出がないケースが多く見受けられる状況です。

在留届をオンラインにより提出済みの方は、今一度、在留届をご確認くださいようお願いいたします。身分証明書を持参の上、ご来館いただけましたら、当館にて在留届を確認することも可能です。

緊急事態に備え、皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

・在留届に関する詳細はこちら

<https://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/todoke/zairyu/index.html>

・オンライン在留届（在留届電子届出システム（ORRネット））

<https://www.ezairyu.mofa.go.jp/index.html>

在留届に関するご照会は、当館領事班あてにお問い合わせください。

電話：514-866-3429（代）

E-mail：zairyu@mt.mofa.go.jp

(2) 日本出入国時の顔認証ゲートの本格導入（再掲載）

入国管理局では、平成29年10月18日から、羽田空港の上陸審査場に顔認証ゲートを3台先行導入し、平成30年8月までに、羽田空港に加え、成田空港、中部空港、関西空港及び福岡空港の上陸審査場に本格導入しました。また、同年11月末までに当該5空港の出国審査場へ本格導入し、日本人の出国手続、帰国手続の両方で利用できるようにする予定です。

なお、顔認証ゲートの利用に当たり、事前の利用登録手続は必要ありません。

顔認証ゲートを利用した場合、パスポートに出入国印は押されませんが、以下のような目的により、出入国印を希望される方は、顔認証ゲートを通過後、税関検査前までに、顔認証ゲート後方にいる職員または各審査場事務室に申し出てください。

- ・海外渡航中の運転免許証の有効期限経過による再取得の手続
- ・海外から帰国した場合における転入届に係る手続
- ・年金保険に関する合算対象期間（免除期間）の証明手続
- ・非居住者の免税手続
- ・外国査証の申請手続

詳細は以下の法務省HPを御参照ください。

http://www.moj.go.jp/nyuukokukanri/kouhou/nyuukokukanri07_00168.html

(3) 当館管轄州での2019年1月の領事出張サービス

当館では、モンリオールから離れた地域にお住まいの皆様のために、領事出張サービスを実施しています。

2019年1月の領事出張サービスについて、以下の日程で実施することになっておりますので、改めてお知らせいたします。

近隣にお住まいの皆様におかれましては、是非この機会をご利用くださいますようお願いいたします。

○ケベック市領事出張サービス

日時 : 2019年1月26日(土) 午前10時~午後12時, 午後1時~午後3時

場所 : Universite Laval, Pavillon Maurice-Pollack, Grand Salon (Local 2244)

住所 : 2305, rue de l'Universite, Quebec, QC, G1V 0A6

※ケベックー日本友好協会の新年会の会場の一部をお借りして実施いたします。

申込締切 : 2019年1月11日(金)

平成30年度の領事出張サービス実施予定については、こちらをご確認ください。

<https://www.montreal.ca.emb-japan.go.jp/jp/consular/oneday.html>

領事出張サービスに関するご照会は、当館領事班までお問合せください。

電話 : 514-866-3429 (代)

E-mail : consul@mt.mofa.go.jp

(4) モントリオール日本語補習校からのお知らせ

「新小学1年生の保護者を対象にした入学説明会のご案内」

モンリオール日本語補習校では、新小学1年生(2019年4月入学希望者)の保護者の方々を対象とした入学説明会及び授業見学(オープンハウス)を開催致します。当日、入学願書の配布がありますので当校に入学を希望される方は必ず参加頂きますようお願いいたします。

・ 開催日時 : 2018年11月10日(土) 午前9:30~午前11:40

・ 場所 : モントリオール日本語補習校 (メトロ Guy-Concordia 駅から徒歩10分圏)

参加を希望される方は、11月4日(日)までに下記ホームページよりお申込み下さい。

<http://mtljpschool.web.fc2.com/>

ご不明な点は、下記モンリオール日本語補習校 E-mail アドレスにお問い合わせください。

連絡先 : モントリオール日本語補習校

E-mail : mtljpschool@hotmail.com

(5) モントリオール日本語補習校正教員募集のお知らせ

モンリオール日本語補習校では、正教員を1名募集中です。

小学6年生の算数と中学1年生の数学を担当できる方で、日本の教員の経験がある方、またはそれと同等の能力および経験を持っている方。

カナダ国法、ケベック州法および日本国法に抵触することなく補習校で勤務できる在留資格(ビザ)を有する方(当校からは就労ビザを出すことは出来ません)。

詳細は、当校ホームページ(<http://mtljpschool.web.fc2.com/>)をご参照下さい。

(6) 安全対策：大麻の合法化に伴う注意喚起

本年6月21日に成立した「カナダにおける大麻に関する法律」が10月17日から施行されることに伴い、ケベック州、ニューファンドランド・ラブラドール州、プリンスエドワードアイランド州、ニューブランズウィック州、ノバスコシア州のいずれの州においても、専門店での個人消費用の大麻(マリファナ)の購入が一定の条件の下で可能となります。

なお、大麻の所持、譲受け(購入も含む)等は、合法となるカナダにおいての事例であっても、日本の大麻取締法の取り締まり対象となるため、在留邦人や旅行者の皆様におかれましては、決して興味本位で大麻に手を出すことのないよう十分にご注意願います。

4 広報・文化便り

当館では、日本関連行事に関する情報を随時募集しております。皆様御自身が実施される日本関連行事のほか、知り合いの方についての情報を(culture@mt.mofa.go.jp)までお知らせください。毎月末までに原稿をいただければ翌月のメールマガジンに掲載することができます。ホームページへの掲載は随時行います。

(1) 日加修好90周年記念事業の募集

2018年は、日本とカナダが外交関係を樹立してから90年目に当たります。日加両首脳が「日加協力新時代」と名付けた最近の日加関係にスポットライトを当て、この節目の年を日本とカナダの間の幅広い協力・交流の年として祝うため、以下の要領で、日加修好90周年を記念するにふさわしい事業を募集し、「日加修好90周年記念事業」として認定します。周年事業として認定された事業は、広報媒体(ポスター、パンフレット、チラシ、プログラム、ウェブサイト、看板、垂れ幕等)に、「日加修好90周年事業」の名称とロゴマークを使用いただくことができるほか、管轄地区にある大使館又は総領事館の「日加修好90周年行事カレンダー

(https://www.montreal.ca.emb-japan.go.jp/itpr_ja/90th_calendar.html)」に掲載されることになります。皆様も奮って御参加ください。

日加修好90周年記念事業の認定基準、申請方法等、詳細はこちらからご確認ください。

https://www.montreal.ca.emb-japan.go.jp/itpr_ja/90th_event.html

(2) モントリオール国際旅行博日本文化紹介事業

モントリオール国際旅行博にて日本ブースを出展します。書道ワークショップ、マツタケ・アンサンブルによる公演(20日(土)13時及び15時20分)などを行います。

日時：10月19日(金)～21日(日)

場所：Place Bonaventure

800 rue de la Gauchetiere Ouest, Montreal

詳細はこちらから御確認ください。 <http://www.salontourismevoyages.com/en/>

(3) 第35回カナダ巡回日本映画上映会（モントリオール）

国際交流基金トロントとの共催で、カナダ巡回日本映画上映会を開催します。全て英語字幕つきの上映で、入場無料、先着順で御入場いただきます。

場所：Cinematheque quebecoise

335 De Maisonneuve Blvd East, Montreal, QC

ア 11月30日（金）18時30分

「彼らが本気で編むときは、」(2017/127分)

監督：荻上直子、キャスト：生田斗真、桐谷健太、柿原りんかほか

<http://jfdb.jp/title/6545>

イ 12月1日（土）13時

「ちはやふる —結び—」(2018/127分)

監督：小泉徳宏、キャスト：広瀬すず、野村周平、新田真剣佑ほか

<http://chihayafuru-movie.com/#/boards/musubi>

ウ 12月1日（土）15時15分

「味園ユニバース」(2015/103分)

監督：山下敦弘、キャスト：渋谷すばる、二階堂ふみほか

<http://misono.gaga.ne.jp/>

5 日本関連行事等のお知らせ

*以下の日本関連行事は、必ずしも当館が共催、後援、保証している行事ではありません。また、同行事にて表明される意見等は日本国政府の公式見解とは異なる内容を含み得ます。行事詳細については、各主催団体へ直接お問い合わせください。

*外部のサイトへのリンクは、あくまでも皆様への御参考情報です。外部のサイトに掲載されている内容や信頼性に関しましては、当館は一切責任を負いませんので御了承ください。

(1) 日加修好90周年事業

ア 展示「広島は今、「市民の日常」－「未来へ引き継ぐ平和」

モントリオール市と姉妹都市でもある広島市に関する展示が行われています。

期間：5月15日（火）～10月31日（水）10時～21時

場所：モントリオール市立植物園日本館（植物園入園料がかかります。）

4101 rue Sherbrooke Est, Montreal

問合せ先：514-872-0607

詳細はこちらからご確認ください。

<http://calendrier.espacepourlavie.ca/hiroshima-the-legacy-of-life>

イ 「日本ーカナダ90：日本の日」

ケベックー日本友好協会主催で日本文化紹介事業が行われます。

プログラム：(オーディトリウムにて) 漫画, 日本酒講演, 墨絵, 書道, 茶道デモンストレーション, 和楽器演奏等。(中央入り口ホールにて) 折り紙, 書道, 茶道等アトリエ。

日時：10月21日(日) 10時~15時

場所：ケベック州立美術館

Musee national des beaux-arts du Quebec

179 Grande Allee Ouest, Quebec

参加無料

問い合わせ先：quebecjapon2018@gmail.com

詳細はこちらからご確認ください。

<https://www.mnbaq.org/activite/journee-canada-japon-688>

ウ 「せとマリアージュ(瀬戸物)展」

ケベック大学モントリオール校(UQAM)日本語プログラム主催で「食器が変われば暮らしが変わる」をテーマに日常の食卓演出等による瀬戸物の魅力を発信する展示が行われます。

日時：11月8日(木), 9日(金) 13時~17時

場所：Agora de la Grande Place du Pavillon Judith-Jasmin, UQAM

*M階：地下鉄 Berri-UQAM 駅出入口入ってすぐ

1400, rue Berri, Montreal, QC

(2) その他の事業

ア 「Gardens of Light (光の庭園)」

期間：9月7日(金)~10月31日(水)

場所：モントリオール市立植物園日本庭園・中国庭園・先住民庭園(*植物園入園料とパッケージでのチケットの購入が必要です。時間制限がありますのでご注意ください。)

4101 rue Sherbrooke Est, Montreal

問合せ先：514-872-0607

<http://espacepourlavie.ca/en/programming/gardens-light>

イ ラヴァル大学図書館・日本館でのイベント(ケベック市)

場所：Pavillon J.-C.-Bonenfant, Bibliotheque de l'Universite Laval

(ア) 日本映画上映会

9月12日から11月14日まで、毎週水曜日18時より日本映画の無料上映会を行います。

場所：ラヴァル大学図書館4階(Local 4117)

詳細はこちらからご確認ください。

<https://www.bibl.ulaval.ca/web/programmation-culturelle/cine-nippon>

(イ) 日本語-フランス語の言語交換会(中級・上級者向け)

日時：10月1日(月), 15日(月), 29日(月), 11月12日(月), 26日(月), 12月10日(月)(仏語：19時~19時45分, 日本語：19時45分~20時30分)

場所：ラヴァル大学日本館(Espace Japon, niveau 00)

参加無料

詳細はこちらからご確認ください。

<https://www.bibl.ulaval.ca/web/programmation-culturelle/espace-japon-immersion-francaise-japonaise>

(ウ) 和風クリスマスカード作成ワークショップ

佐藤祥子氏, ベノワ・ラフランス氏によるワークショップ。

日時：12月15日(土) 13時～15時

場所：ラヴァル大学図書館4階 (Local 4285)

参加無料 (20名まで)

ウ ケベック日本酒協会主催：第1回ケベック日本酒イベント「カンパイ・モンリオール」

日時：10月25日(木)

14時～16時：企業・メディア向けセミナー・日本酒試飲

17時～20時：一般向け日本酒試飲

場所：Studio Mile-End

6250 Hutchison Street, Montreal

チケット等詳細はこちらからご確認ください。

<https://www.eventbrite.com/e/kampai-montreal-2018-festival-du-sake-tickets-50278319808>

<https://www.facebook.com/associationsakequebec/>

エ 生け花インターナショナル10月の行事

草月流ミニデモンストレーションとワークショップが行われます。

日時：10月30日(火) 13時

場所：Mountainside United Church

687, avenue Roslyn, Westmount

参加費：20ドル

問合せ・予約連絡先：田中和子氏 (montrealikebana77@gmail.com)

オ 餅つき

日系文化会館主催で、毎年恒例の餅つきが行われます。

日時：11月3日(土) 餅の引取り：12時半～17時, ティールーム：13時～17時

場所：日系文化会館

8155 rue Rousselot, Montreal

注文受付：10月26日(金)まで

注文先・ボランティア希望者連絡先：日系文化会館 centrejaponais@bellnet.ca

6 ケベック州・大西洋4州政治経済情勢

ケベック州・大西洋4州における政治・社会動向について主要なものを御参考まで御紹介いたします。

(1) 政治

ア ケベック (QC) 州

- ・ 12日, モンティ (Mr. Luc Monty) 前ケベック州財務副大臣が10月22日からケベック市事務局長に就任予定。
- ・ 14日, QC州ボース選挙区選出のベルニエ (Mr. Maxime Bernier) 連邦下院議員 (前連邦政府外相, 前保守党所属) が新党「カナダ人民党 (le Parti populaire du Canada)」を旗揚げ。
- ・ 17日, モントリオール市議会はトロント市議会の議席を半数近くに減らすというフォード・オントリオ州首相の政策を支持しないとする動議を採択。
- ・ 17日, 今年2月にブロック・ケベコワ党を離党した5名の連邦下院議員は2019年の連邦議会選挙を見据え, 同党に復党。
- ・ 21日, モントリオールで女性外相会合が開催され, 河野外務大臣が出席。
- ・ 22日, QC州政府はガティノー地区で発生した竜巻による被害救援費として1億加ドルを拠出。

イ ニューファンドランド・ラブラドール (NL) 州

- ・ 13日, ゲリー・カチャノスキー・メモリアル大学学長が, 2019年12月に退任する旨発表。退任後は教授として同学に残る予定。
- ・ 17日, 採算の取れていないマスクラット滝水力発電プロジェクトを検証する独立調査委員会が発足。
- ・ 20日, 州議会ウィンザーレイク選挙区補欠選で, 進歩保守党のチェス・クロスビー党首が当選。

ウ プリンズエドワードアイランド (PEI) 州

- ・ 12日, 州政府は, 一部で悪用が問題になっていたビジネス移民を対象とした州のノミネートプログラム (PNP) を中止する旨発表。
- ・ 17日, エイルワード進歩保守党 (野党第1党) 党首が, 支持率低迷を理由に辞任を発表。

エ ノバスコシア (NS) 州

- ・ 6日, 州議会が開会。
- ・ 6日~8日, G7下院議長会議がハリファックスで開催。大島衆議院議長が出席。
- ・ 10日, カナダ大西洋経済開発庁 (ACOA) は, 海洋分野のビッグデータ分析を行うダルハウジー大学, IBM及び複数の海洋研究機関による共同研究機関ディープセンス (DeepSense) 設立に590万加ドルの支出を決定。
- ・ 13日, マクニール州首相は, 連邦政府に提出した州独自の排出権取引制度は, カナダがパリ協定で合意した気候変動対策目標にほぼ沿っている旨発言。
- ・ 19~21日, G7環境・海洋・エネルギー大臣会合がハリファックスで開催。中川環境大臣他が出席し, 日本が検討中のプラスチック資源循環戦略は, (日本が署名していない) プラスチック憲章の内容も含んでおり, それよりもさらに野心的な内容となっている旨発表。また, 同大臣はプラスチック問題についてはG20会合でさらに議論すると示唆。

オ ニューブランズウィック (NB) 州

- ・ 24日, 州議会選挙が実施され, 即日開票された。結果は進歩保守党22議席, 自由党21議席,

緑の党3議席、ピープルズ・アライアンス3議席。どの党も過半数の25議席は獲得できず。

- ・26日、ギャラン自由党党首は、緑の党と正式な協力関係をつくり、議会に信任を求めるプロセスをクリスマスまでに行うつもりである旨発表。

- ・28日、ギャラン自由党党首は、10月23日までに議会を召集する旨発表。

(2) 経済

ア ケベック (QC) 州

- ・4日、米・メキシコ間の関税交渉により豚肉の輸出価格変動の影響を受けたケベック州内の養豚関係者は連邦政府と州政府に対し救済金として5,000万加ドルの拠出を要請。

- ・6日、NAFTA再交渉による州内の供給流通管理制度への影響を懸念し、若年農業事業者はモントリオール市内のトルドー首相事務所周辺でデモを実施。

- ・11日、マルルーニ (Mr. Brian Mulroney) 前カナダ首相はNAFTA再交渉において供給流通分野での妥協無しに交渉の締結は困難だと発言。

- ・12日、サンフランシスコで行われた世界気候行動サミットに出席したプラント・モントリオール市長は2050年までに同市において温室効果ガスの削減を推進し脱炭素化を目指すと発表。

- ・13日、アグリソマ・ビオサイエンシズ社 (Agrisoma Biosciences) は種子油製のバイオ・ジェット燃料を開発。同バイオ・ジェット燃料使用により通常の飛行より30%の温室効果ガス削減が可能となる。

- ・28日、ボンバルディア社の機体 Global 7500 はカナダ交通賞を受賞。年末には同機体によるサービスが可能となると発表。

イ ニューファンドランド・ラブラドール (NL) 州

- ・25日、カナダ鉱業会社 (IOC) の新鉱山ワブッシュ3 (ラブラドール) が正式に開始。IOCは、三菱、リオティント及びラブラドール鉱業会社 (Labrador Iron Ore Royalty Corporation) によるジョイントベンチャー。

- ・28日、マスカラット滝水力発電プロジェクトの主要サプライヤーであるイタリアのアスタルディ社が、イタリアで債権者からの保護を求める申請を行った旨ロイターが報道。最近、アスタルディ・カナダによる現場作業員の福利厚生や航空券に対する不払いが続いていた。

ウ プリンスエドワードアイランド (PEI) 州

- ・5日、マクローラン州首相は、米国と再交渉中のNAFTAについて、PEI州は供給管理制度を支持すると発言。

エ ノバスコシア (NS) 州

- ・10日、仏企業タレスがカナダ国内では8ヶ所目となる拠点をハリファックスにオープン。カナダ海軍の北極海上巡視船と共同支援船のサポートを行う。

- ・21日、ソヒ連邦天然資源大臣は、ハラゴニア・タイダル・エナジーによる1億1,700万加ドルのファンディ湾潮力発電プロジェクトに2,980万加ドル支出する旨発表。発表はハリファックスで開催されたG7環境・海洋・エネルギー大臣会合で行われた。

オ ニューブランズウィック（NB）州

・27日、カナダの大手格付け会社ドミニオン・ボンド・レーティング・サービスのトラヴィス・ショー財政担当副社長は、NB州は今後ポジティブな経済の見通しを示せなかった場合、信用格付けを引き下げられる可能性があるが、政局が不安定な状態が続くとそのリスクがさらに大きくなると述べた。信用格付けが下がると負債利息の利率が上がる。NB州は142億加ドルの負債を抱えている。

[在モントリオール総領事館メールマガジン]

○このメールマガジンは送信専用アドレスから送信されています。本メールあてに直接返信なさないようお願いいたします。本メールマガジンに関する御意見・御要望は以下のメールアドレスあてに送信してください。 emagazine@mt.mofa.go.jp

○配信中止・配信先変更を希望される方は、「配信中止（又は登録解除）」、「配信先変更」を希望する旨明記の上、 emagazine@mt.mofa.go.jp まで御連絡願います。登録完了後に確認のメールが届きます。

ただし、在モントリオール総領事館ホームページ内の読者登録ページから登録を行った方は、同ページ内の、「利用者情報の変更／削除」から同様の手続きが行えますので、そちらを御利用ください。

○バックナンバーの閲覧は、以下のホームページからお願いいたします。

https://www.montreal.ca.emb-japan.go.jp/itpr_ja/mailmag.html

○参考ホームページ

首相官邸ホームページ（ www.kantei.go.jp ）

外務省ホームページ（ www.mofa.go.jp/mofaj/ ）

在カナダ大使館ホームページ（ www.ca.emb-japan.go.jp ）

当館ホームページ（ https://www.montreal.ca.emb-japan.go.jp/itprtop_ja/index.html ）

当館 Facebook（ www.facebook.com/JapanConsMontreal ）

○発行：在モントリオール日本国総領事館

Consulate General of Japan in Montreal

1 Place Ville Marie, Suite 3333,

Montreal, Quebec, H3B 3N2, Canada

○本メールマガジンからの転載を希望する場合は総領事館メールマガジン担当

（ emagazine@mt.mofa.go.jp ）まで御相談ください。

■-----■